



# 広報 えびな

編集・発行  
海老名市役所広報広聴課  
〒243-04  
神奈川県海老名市勝瀬175  
☎ (0462) 31・2111

## 嫌々梅雨を元気に 過ぎよう

六月、いよいよ梅雨の季節です。この時期は長雨が  
続いて農作物などに悪影響を与える反面、湿気が多くな  
るため細菌が繁殖し、病気や食中毒にかかると増え、  
衣類や室内にカビがはえやすくなります。今回は、梅  
雨を健康に過ごすための、「豆知識」を紹介します。



僕たち梅雨でも元気だよ！梅雨が明ければ夏休みだもん (写真は社家小学校児童)

### 怖い食中毒

食中毒は細菌や細菌毒素が混じった食物を食べた場合に起こる急性性胃腸炎の一種です。



食中毒予防に冷蔵庫内の保存時間をチェック

かかるのが短いもので三十分、長くて一日の潜伏期を経て腹痛、吐きけ、下痢を起し、重症になると脱水症状になり、特に抵抗力の弱いお年寄りや子供の場合は死に至ることも

ありますので、十分注意して下さい。

◎食中毒の予防  
料理をつくる人の手に化膿した傷や水虫があると、そこからブドウ球菌が感染することがあります。

料理前、食前には手を洗う習慣をつけ、まな板なども野菜用、魚や肉用を別々に用意して、使用後は天日で乾燥するなど、衛生面に気を配りましょう。



### 傘の保存とおむつの洗い方

梅雨時の必需品といえは傘ですが、ぬれた傘をそのまま立てかけておくと傘の骨がまっすぐに中心部にたがたまり、さびの原因になります。使用後はよく雨水をきり、柄を下にして立ておくようにしましょう。

また、傘を乾かすときは頂点の骨の中心に、サラサラ油などの植物性油を脱脂綿に少し、くませ布部分にじまさないようすり込むと、さびを防ぎます。

### 役に立つ豆知識

おむつを手まめに取り替えないければなりません。アンモニア分や洗剤が残っていると、赤ちゃんの皮膚を刺激する結果になります。

### 湿気が原因病気とカビ

梅雨時は健康な人でも体調が狂いがちです。湿度が高いため、汗がすぐに発散しないうえ、不快感が増え、よけい曇りを感じます。

梅雨時は健康な人でも体調が狂いがちです。湿度が高いため、汗がすぐに発散しないうえ、不快感が増え、よけい曇りを感じます。



また、雨の間は窓を閉めて外の湿気を防ぎ、晴れたら窓を開けて外の空気を取り入れることも、室内のカビ予防に役立ちます。

意外にカビの発生しやすいのがじゅうたんの裏です。じゅうたんの裏には、カビと同時にカビの胞子を好物とするダニが発生し、子供のアレルギー性ぜん息などの原因にもなります。



### ちょっとひと息

アジサイは日本固有の花で、万葉集の中にもその名があるほど古くから知られ、鎌倉時代以降は園芸品種として栽培されてきました。しかし、花言葉は「高慢」「美しいが香も実もない」なので、どうも女性への贈り物には不向きなようです。





# 7月の健康あんない



## 救急のときは...



医師会の協力を得て 次の救急医療を行っています。

### ☆休日の昼間は→市健康センターで

受付時間＝日曜・祝日の午前9時～11時半と、午後2時～4時半  
受付場所＝休日急患診療所(さつき町41 市健康センター内 ☎31・1912) >診療科目＝内科・小児科  
>注意＝保険証、診察料を忘れずに。耳鳴り科は市外の休日診療所を紹介します。

### ☆夜間は→電話で医療機関を紹介

>ときは夜間は、午後6時～翌日午前8時 ☎電話＝32・0108、32・0119、または市役所31・2111。

## 医師会の協力で

### 急病でない限り平日の昼間に

は、①昼間帯の大人が構ってあげ、②外出や旅行で環境の変化を経験する、③暑さやかきこい、④眠る前にテレビを見ている時期といわれています。



七ヶ月児健康相談では、赤ちゃんの夜泣きで困っているお母さんを見守ります。赤ちゃんが、毎晩泣いて同じ時刻に、比較的長い時間、間歇的に泣き続ける、知能が発達する(ハイハイやつかまり立ち)の現象です。

## 構い過ぎは逆効果

### 夜泣きは知能発達の一段階

興奮した、泣きが考えられます。赤ちゃんの母は、日中でも泣き声に敏感になり、つい構い過ぎて、かたがた個人差があります。

## 健康相談

七月九日(月) 午前九時半～十時受付、市役所。▽対象 成人▽内容 健康全般についての相談。▽申し込み 当日直接会場へ。▽問い合わせ 予防保健課(内包)。

## がん検診

胃がん(集団) ▲七月十五日(日) 柏ヶ谷コミュニティセンター。七月三十一日(火) 門沢自治会館。午八時半～十一時受付。▽対象 四十歳以上の女性。▽内容 エックス線撮像撮影。▽受診料 五百円。

## 一般診査

七月十五日(日) 柏ヶ谷コミュニティセンター。午前九時～十一時半受付。▽対象 二十歳以上の女性。▽内容 エックス線撮像撮影。▽受診料 四百円。

## 乳幼児の健診と相談

事業名	月日・受付時間	会場	対象	内容	問い合わせ	申し込み
3ヵ月児健康診査	7月26日(木) 13:00~14:00	厚本保健所海老名支所	2年3月生まれの人	診察、身長・体重測定	厚本保健所海老名支所	直接会場へ
7ヵ月児健康相談	7月27日(金) 9:30~10:00	健康センター	元年11月生まれの人	身長・体重測定、栄養・育児・歯科相談	市役所予防保健課	"
1歳6ヵ月児健康診査	7月19日(木) 13:00~14:00	厚本保健所海老名支所	元年1月生まれの人	診察、身長・体重測定、歯科検診	"	"
3歳児健康診査	7月20日(金) 13:00~14:00	"	S62年6月生まれの人	診察、身長・体重測定、歯科検診、尿検査	厚本保健所海老名支所	"
離乳食講習会	7月20日(金) 9:30~10:00	"	3ヵ月~6ヵ月児	離乳食の作り方、与え方の注意	"	"
幼児歯科相談	7月6日(木) 13:00~14:30 7月11日(火)	"	1歳7ヵ月~2歳11ヵ月児	歯のみがき方(ハブラシ持参)	"	"
小児整形外科相談	7月5日(木) 13:00~14:00	"	18歳未満で特に心配のある人	身体障害のある乳幼児の早期発見、治療と療育指導	"	予約制
障害児歯科相談	7月25日(水) 13:30~15:00	"	6歳未満	医療機関で歯科検診を受けたことのない人	"	"
お誕生前健康診査	対象は生後10ヵ月からお誕生日前日までの乳幼児。指定された医療機関でお受けください。受診用紙は母子手帳別冊にあります。別冊のない方は予防保健課へ。					

※健診または相談を受ける方は必ず母子手帳を持参してください。

# 7月の文化会館

日(曜)	内容	開演	終演	入場方法	主催者
1(日)	バレエ発表会	15:00	18:00	自由	キズクダンスシアター (31)7843
4(水)	運転免許証更新時特別講習会	18:00	20:00	該当者	海老名市交通安全協会 (31)2111
6(日)	ピアノ発表会	15:30	20:00	自由	小村音楽教室 (33)6552
14(土)	バレエ発表会	17:00	20:30	自由	藤原高秀バレエ研究所 0467(78)5924
15(日)	怪しゅうが街にやってきた	13:30	15:30	2,900円	よい本をひろめる会 海老名 (38)1375
20(金)	大和混声合唱団 第20回定期演奏会	19:00	20:30	1,000円	大和混声合唱団 (67)3428
22(日)	民謡まつり	10:00	18:00	2,000円	さがみ民謡連合会 (31)0882
25(水)	なつめ会ピアノコンサート	15:00	18:00	自由	なつめ会ピアノグループ (38)5692
26(木)	朗読劇「この子たちの夏」を見る会	18:30	20:10	2,000円	「この子たちの夏」を見る会 (32)2139
28(土)	有富幸子モダンアトリエ発表会	14:30	16:00	自由	有富幸子モダンアトリエ (31)9261
29(日)	ピアノ・エレクトーン発表会	14:30	18:30	自由	門脇智恵子音楽教室 (38)0031
30(月)	民音ファミリー劇場「少年とさくら」	11:30 14:30	12:30 15:30	全席1,500円 一般1,800円	郷民音楽協会 045(252)0501

○問い合わせは主催者に。○主催者の都合で変更になる場合もあります。○関係者だけの催しは掲載していません。○今月の休館日は3, 10, 17, 24, 31日です。

## プレイガイド

松竹名作劇場

向田邦子原作「阿修羅のごとく」より  
花いくさ

出演 有馬稲子、波野久里子、小坂一也、土屋嘉男など  
>とき 9月24日(月) 午後2時開演 >ところ 市文化会館 >入場料 A席3500円、B席3200円(全席指定) >前売開始 7月8日(日) 午前9時から、電話予約は午後1時から >主催 市・市文化会館事業協会

海老名市文化会館 ☎32・3231



す。おもちゃの取り合いになると大抵勝つ。お母ちゃんに泣き出してしまいます。それでもやはり仲が良く、お互い片方が寝ていると起すし、二人とも寝てしまっても仲よく、素直な子に育ってほしい。



樋口 信子ちゃん  
今年九ヵ月  
樋口 信一ちゃん  
今年九ヵ月  
長女

## 水辺で遊ぶおもちゃ



社会教育指導員が各児童館を回って手づくりおもちゃの作り方を指導しています。内容は「水辺であそべるおもちゃ」を作ろうと「おまかせのモヒロ」です。無料。申し込みは直接会場へ。問い合わせは青少年課(内包)へ。月曜休館日。各児童館の巡回指導日は次のとおり。時間は午前9時半から正午まで。Bが午後1時半から4時半まで。

- ◇園分児童館 3日B、11日B、19日B、26日A
- ◇大谷児童館 6日B、13日B、24日A、26日B
- ◇園分寺台児童館 4日B、10日B、19日B、31日B
- ◇河原口児童館 5日B、17日B、25日A
- ◇上郷児童館 5日B、13日B、18日B、27日A
- ◇上本児童館 4日B、7日B、13日B、21日B
- ◇柏ヶ谷コミュニティセンター 6日B、12日B、24日A、28日A
- ◇社寮児童館 4日B、10日B、24日B、30日B
- ◇杉久保児童館 6日B、11日B、22日B、29日B
- ◇本郷児童館 3日B、12日B、18日B、27日B
- ◇門沢児童館 5日B、11日B、18日B、21日A
- ◇上内児童館(休館日なし) 12日B、17日B、24日B、30日B
- ◇中新田コミュニティセンター 6日B、12日B、20日B、28日B

家庭で作ってみませんか  
牛乳パックを利用した水車

【用意するもの】牛乳一箱パック、竹ひし、ストロー  
【作り方】①牛乳パックを図のように切る  
②水切り羽根四枚を組み合わせた水車の出来上がり

この折を利用する  
切りこみと穴をあける

ホチキス  
ストロー-2.5c  
竹ひこの先につける

水をあてるとクルクル回ります

# フォトピックス

## 4千人が来場

市内文化団体の交流、活動発表の場である「春季文化祭」が五月二十六日、二十七日の両日、市文化会館、市中央公民館、市総合福祉会館の三会場で行われた。

この文化祭は、市文化団体連合会(古郡有正会長)が主催したもので、展示部門では短歌、書道、華道、陶芸など九部門の



練習の成果を発表

合計が約七百五十点の作品を出品したほか、出前部門では十九団体が器楽、台本、民謡、詩、日舞などを演じ、延べ八千四百人の入場者を魅了した。

古郡会長は、「市民のみならずも年々、海老名の文化に関心を高めているので、今後も頑張りたい」と話していた。



来場者も展示されたときに感動

## 名花が勢揃い

市役所で「さつき展」

五月二十六日、二十七日の二日間、市役所一階ホールで「第十回さつき展」が開かれた。

会場も参加し、さつきのコンクールが行われ、計十七人が入賞。おもな受賞者は次のとおり。

【銘木の部】▽市長賞 井上利雄さん▽会長賞 井上明生さん▽金賞 朝志田徹さん

【中盆栽の部】▽議長賞 飯島高光さん▽金賞 石井勉さん

## ごみ6トを収集

相模川美化キャンペーン



相模川のごみを拾う参加者たち

「相模川の自然を大切にしよう」という声も聞かれた。

## 乳牛・豚などを出品

県央地区畜産共進会

六月のアユ解禁を前に、市南部の相模川河川敷をきれいにする美化キャンペーンが五月二十七日に行われ、地区住民約千八百人が参加した。

同キャンペーンは、昭和五十五年から毎年、県央地域で行われており今年で十一回目。当日は中野の多目的広場北側から門沢橋の戸沢橋までごみの収集を行い、一時間で可燃ごみ約二、三ト、不燃ごみ約四トを収集した。

【若木の部】▽会長賞 朝志田米男さん▽金賞 増田孝好さん

【人気投票の部】▽金賞 大貫政雄さん

会場には、市さつき研究会(古郡有正会長、130人)会員が朝晩五、六年から百年近いさつき約百点を出品し、来場した人たちの目を惹きました。

また、二十

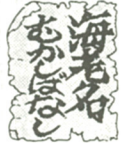


晴ブタいで審査を受ける豚くんたち

六日には、入場者も参加し、さつきのコンクールが行われ、計十七人が入賞。おもな受賞者は次のとおり。

【銘木の部】▽市長賞 井上利雄さん▽会長賞 井上明生さん▽金賞 朝志田徹さん

【中盆栽の部】▽議長賞 飯島高光さん▽金賞 石井勉さん



### 第234話

## 前代未聞 鯨の大漁

麦刈りも済んで畑仕事が始まり、そろそろ田植えが始まろうとするある日、水まわりの様子を見ておこうと松木原(中新田の旧小字)の田んぼへでかけた中新田の人が、その辺りの水の色が変わっているのに気がついた。

「この水田も空を映して一様に明るく光っているのに、自分の田んぼとその周りにはその輝きがなく、暗くすんで濁っている。」

近づいて見ると、一面に波を立てて、何かが濁った水の中を泳ぎ回っている。始めは何かいるのかよくわからなかったが、じつとよく見ると鯨の群れである。その数があまりに多いので、あつげにとられてしばらく見ていたが、我にかえって群つたのを見て回ると、いろいろ、いろいろ、鯨の大群、何枚かの田んぼは鯨に鯨の生け賣りのようである。

急いで駆け戻ると手網と魚籠を持ってひき返し、見当をつけて無造作に掬うと、持ち上がったのは網の中は鯨で鯨もすくすくはいっぱいになってしまったので、刈って干してあった葺や真鍮を束ねて水口を塞ぐと、いったん家に帰り隣近所へ知らせた。

話を聞いた人たちは「それ行け」というので、戸毎に年寄り子供まで手に手に大きな手桶や魚籠とともに尻や竹箕を持って、中新田外れのかまやのわきから大谷に通じ、一本道を松木原まで列をつくと急いだ。中には大きなぶつ



ける泥水を浴びながら片っ端から魚籠や手桶へつかみこんで運んだ人もいた、といつてとである。

長い一日は鯨騒ぎで暮れ、夕方からの激しい雨で、群の踏み崩された田んぼは一面の湖水のようになり、またも捕りつくせる数ではなかつた。捕るだけ捕って引き上げた。捕った人が本村全体へ知らせを回したので、口から口へ伝えられた鯨捕りの人たちは増え続けた。うんうん言いつつながら手桶をさげて帰る人、目を血走らせて現場へ急ぐ人、松木原への道は火事場の

よつな騒ぎでとつた返した。捕っても捕っても捕り切れないので、ふたつき合いのある大谷にも知らせようと何人が走った。大谷の田んぼに添いの人たちが話を聞いて出かけたが、話半分くらいに思ってお付き合いのつもりで行ったものの、みんな度肝を抜かれてほう然としてしまった。荷桶で運んだ人もいたが、「またいる、またいる」というので、消火用の大きな天水桶まで担ぎ出して二人で、し

## 海老名むかしむかし

☎33・3838

電話で海老名の昔ばなしが聞けます。  
6月12日～6月24日 第65話 地せぶり伝次  
6月25日～7月8日 第66話 旗捨山

のにおいが立ちこめ、串焼きが天井にいついっさいがっていった。

このとき、たくさん捕って始末に困り込んでいた親せきに配ったという人もいたが、それをまた近所へ分けつけた家もあった。

この種の鯨の大漁は、中新田や大谷の老人たちがよく知っていたのでそんな古い話ではないのだが、時代があまり古いのは江戸末期、わずか二十年の間に年号が七回も変わったので記憶がはっきりしなかったのだから。(注)

今でも中新田の人には、この周りを「鯨田」と呼ぶ人がいる。松木原から流れ出す柳流する辺りが大雨や長雨のとき、この小溝にまき込んだ魚群は漂上してきて、みんなこの行き止まりの水田に集まったものらしい。

注: 明治元年(一八六八年)に至るまでの間に嘉永(一八四八～一八五五年)安政(一八五五～一八六〇年)万延(一八六〇～一八六一年)文久(一八六〇～一八六一年)元治(一八六五～一八六七年)の順で年号が替わっている。(小島 直司)